

学校建設(カンボジア)

プロジェクトの背景

国際機関、NGO等の援助により、カンボジアの状況は改善されつつあるが、一方で貧富の差は拡大している。小学校進学率は上昇しているが、不完全校(所定の学年まで受け入れができない学校)や教室不足の学校、校舎の老朽化等が深刻な学校も未だに多い。また、中学校への進学率も上昇しているが整備が行き届いておらず、教室不足のため、中学校も2部制の学校が増加している状況である。また、貧困が原因で通学が困難なため就学率が依然低い状況である。

小中学校15棟67室完成。 着工分を含め建設実績は313棟に。

建設支援校リスト

建設累計 (カンボジア)	支援学校名	地域	受益者 (生徒数)	受益者 (教員数)	支援内容						
					校舎 棟	トイレ 棟	机、 椅子	井戸 水タンク	靴箱		
285	ジャヤパルマンⅧ中・高校	カンダール州	3310	138	1	15	1	14	375	1	45
287	ビームロー中学校	プレイベン州	1952	47	1	4			100	1	12
288	ビームロー中学校	プレイベン州			1	3	2	10		75	
289	トロピアンコンプ小学校	スワイリエン州	371	7	1	4	1	4	100	-	12
290	ヨーク小学校(教室棟)	コンボンチャム州	75	1	1	3			75	-	9
291	ヨーク小学校(図書室棟)	コンボンチャム州			1	1	1	3		25	-
292	チュレイト小学校	スワイリエン州	120	4	1	4	1	4	100	1	12
293	ブーンチャー小学校	プレイベン州	292	8	1	5	1	5	125	1	15
294	ベッチョンワール小学校	バタンバン州	77	3	1	3	1	3	153	1	9
295	スワイム中学校	スワイリエン州	464	20	1	5	1	5	120	-	15
296	チョムロンニエツ小学校	プレイベン州	229	6	1	4	1	4	96	-	12
297	ニエグリエ小学校	オッターミエンチェイ州	52	2	1	3	-	-	147	1	9
298	トゥールチュレイ小学校	プレイベン州	279	3	1	5	1	4	120	1	15
299	オルツセイ小学校	コンボンチャム週	134	3	1	4	1	3	96	1	12
300	ロールオ小学校	バタンバン州	151	6	1	4	1	3	96	1	12
-	バンプレア中学校	プレイベン州	597	32	-	-	1	5	-	1	-
-	プレイドボン中学校	カンダール州	351	45	-	-	1	5	-	1	-
-	スレイモンコル中学校	カンダール州	2466	148	-	-	1	5	-	1	-
合計			10920	473	15	67	16	77	1803	12	201

※ベッチョンワール小学校他の机・椅子は日本から輸送された中古の机・椅子を寄贈しました。(P7参照)

支援概況

本年度は35校から建設要望が届き、前年度の要望書も含めて34校の現地調査を実施しました。その中から、

①教室が足りず2部制以上で授業を行っている学校(特に6年生まで受け入れのできない不完全校)

②老朽化により授業の実施が天候などで左右される学校

などいくつかのチェック項目を勘案したうえで十分協議し、優先順位の高い学校から建設を行いました。(写真A)

本年度はカンボジア6州に、小中学校15棟67室、トイレ16棟77室、給水施設12基を建設しました。これにより、カンボジア国内での校舎建設数は305棟(着工済含む)、ラオス1棟とネパール7棟(うち4棟は完成)を加えると313棟になります。JHPの支援地域は、本年度初めてオッターミエンチェイ州での建設を行ったことにより、カンボジア25州(※)中18州となりました。

※カンボジアのコンボンチャム州がコンボンチャム州とトボークモク州に2分割されたため25州となりました。

300棟目のスワイム中学校完成

入学者が増加し、教室不足が問題となっていた同中学校(写真B)。約300名のご支援により1棟5教室の校舎が完成しました。

9月25日の贈呈式には、日本からのツアー参加者、スタッフあわせて40名が参列。JHP支援のマーチングバンド40名も出演する盛大なセレモニーとなりました。(表紙参照)

カンボジアの現状を伝える各種コーディネート

ブノンペン事務所は、贈呈式、プロジェクト視察、ボランティア活動・交流会など、22組213名の支援者をお迎えし目的にそったコーディネート業務を行いました。(写真C)

学習環境維持のための継続支援

各学校に割り振られる学校予算では、教材、文房具、図書、備品などの購入代、校舎修理代などを賄えません。2013年度は、文具支援の他に、図書及び本棚支援、トイレ補修などを実施しました。ニーズに基づいた継続支援は、健全な学校運営に役立っています。(写真D)



A
当初1〜3年生のみの不完全校だったベッチョンワール小学校



B
スワイム中学校建設前の状況



C
支援先の中学校で交流する淑女と野高校の皆さん



D
建設後の継続支援



E
ニエグリエ小学校の建設前の衛生指導

学校建設全棟調査

調査内容は「学校の建物についての調査」「利用状況についての調査」「利用者についての調査」の3つに分かれ、調査方法も校長先生、先生、生徒へのインタビュー、アンケートに加え、利用状況を観察しています。2014年3月末時点で、240校300棟のうち88校128棟(JHP支援校の約37%)を調査。現在まで建物の重要部分である柱や梁等への大きなダメージは見つかっていません。しかし、すべての建物は再塗装等の簡単な修理が必要です。学校側の予算では修理費を確保することが難しいため、周辺村民から寄付を募り修理を行っている学校もあり、JHP校舎が大切に利用されていることがうかがえます。2014年度も継続して調査を行い、その結果から今後の建設プランの見直しや改善を図り、より効果的な支援へとつなげていきます。(写真F)

水を確保できる学校環境を目指して

当会は、校舎建設と同時にトイレ、給水設備(井戸、給水タンク、ため池)の支援を行っています。2013年度は、トイレ16棟77室、給水設備12基を支援。井戸水は研究機関で水質検査を行い、ヒ素、大腸菌などの有無を学校に報告しています。カンボジア全土の小中高で、水を確保できない学校は40%を超えています。トイレや掃除、植物への水やりなど、学校の衛生環境を維持するためには、水の確保が最優先となります。(写真G)

「江東区」及び「江東区海外リサイクル支援協会」との連携で中古机・椅子を輸送

2013年度は、江東区の小・中学校7校から届いた机・椅子228セットのうち、バタンバン州ベッチョンワール小学校に153セット、プレイベン州トゥールチュレイ小学校に75セットを寄贈。併せて両国の子どもたちのメッセージ交換を行いました。(写真H)

尚、海上輸送のコンテナには、江東区をはじめ全国各地から当会に寄せられた楽器等も積み込み、各種支援に備えることができました。

衛生教本を活用した衛生指導

当会は学校建設前の最終協議の際に、教員、生徒代表、村民代表に対して当会が作成した衛生教本を使い、清潔と健康の関係、トイレの使用促進、ゴミの扱いなどの指導を行っています。また、ゴミ箱を寄贈し、校内美化を促進しています。更に、建設後のモニタリングの際に、学校内の清掃状況やトイレの使用状況などを観察し、必要であれば教員を中心に再指導しています。

2013年度は、当会オリジナルの衛生教本を、1校あたり50冊(着工前と完成後に25冊ずつ)合計で650冊配布しました。その他、国際ボランティア貯金の助成事業として、衛生強化の取り組みにも力を入れ(P.8参照)、対象となる8校に合計8000冊を配布しました。(写真E)



F
教員へのインタビューを行うJHPスタッフ



G
雨水を活用するための給水タンク支援



H
机・椅子と共にメッセージの額を受け取る子どもたち